

誰とでも積極的に話せる 「コミュニケーション力」を 生かせる仕事

藤田 和寿 **設備施工**

佐藤工業株式会社 設備職2年目 / 高等専門学校建築学科卒業
現在の担当案件：平屋の水産加工場、マンション(62戸、一部店舗)



“建築設備”を選んだワケ

学生時代、設備に関する研究室に所属していて、そこから自然と就職先として意識するようになりました。何というか、電気にしても水道にしても、自分の身近にあるものだから、イメージしやすかったんですね。「建設業は人手が足りてない」というのもよく耳にしていたので、それだけ求められてる仕事ならやってみようかという気持ちもありました。

現在担当している現場について

現在担当しているのは、水産加工場とマンションです。現場では、実際に施工箇所に向くよりも事務所で書類作成・確認といった業務の方が圧倒的に多くて、そのことに驚きました。

仕事に生かせる特技

協力会社の方はみなさんベテランで、自分よりもずっと経験もある方が多いです。コミュニケーションはわりと得意なので、どんどん自分から話しかけて、わからないことは教えてもらって、それで得られた知識を別の会社の人につけてみたりして…そうやって輪を広げることで、現場がうまく回るんだということを実感しています。

日常生活の変化とは!?

街を歩いていると、自分が担当してる現場と似た建物がつい気になっちゃいますね。「今どれくらいの段階で、きっとこういう設備工事をやってるんだろうな、そろそろこういう業者さんが入ってくるんだろうな」とか。「ここは管工事が大変そうだな」とか。

学生にむけて(メッセージ)

入って間もないころは、サブコンさん(専門工事会社)の方が経験も実績も持っているの、いろいろ話を聞いて自分の知見を蓄えていくのが重要になると思います。設備職は、同期の他の建築系の職員よりも早い段階で建築主や設計者と一人でやりとりするようになるので、責任も大きいし自分で成長できるチャンスが多いと思います。人に頼らず自分の判断でいろいろ決めていくのが好きな人には向いているんじゃないでしょうか。

「建築主や作業員さんだけでなく、社内のタテ・ヨコ・ナメのコミュニケーションも大切にしている」と藤田さん



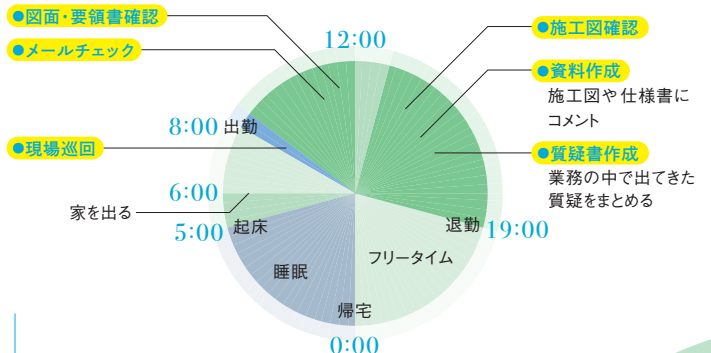
現場事務所で施工図を確認。限られたスペースに、配管をどうやって納めたらよいか、想像しながら確認する



My Favorite



休日に茨城県の竜神大吊橋でバンジー・ジャンプをしてきました! 橋から100m下の湖面に飛び込み、絶叫してストレス解消です(笑)



◎ one day with me

※所属や経歴は取材当時(2025.2)のもので